

変な言葉、ちょっと不快

今使われている言葉に対して、いちいちイチャモンつける訳ではないが、何気なく言われる、もしくは、聞いてしまう、または聞かされてしまう言葉の中には、少し違和感を禁じ得ないものや、ちょっと不快に感ずるものがある。共感される方も多いのではないかな。

【ボリューミー】よい子は決して検索しないでネ。検索してゾッとした。ああそういう意味もあり得るのだなと直感的に判断した。が、それがよい子には見せられない。知られたくない情報であるとも直感的に判断した。国際的に恥ずかしい表現の一つ。使えない。

【ボディブローの様に】一度もそれを喰らった経験がない者が、さも適切な表現として軽々しく高頻度で使用されている。違う適切な表現がないのか考えて欲しい。不快だ。

【付加価値を付ける】無神経にも平然と何の躊躇もなく言い放つ方が多いが、聞いている方としては「馬から落ちて落馬した」と同様と認識し、発言者の知性の欠落を感じざるを得ない。モノやサービスが今以上に向上することや良く見えるにとの親心の様なつもりで発言されるケースが多いと思われるが、付加価値の対義語（見つからない）と映り、そのモノやサービスの価値が半減したり、色褪せて見えてしまうことに繋がるのではないかな。当然、発言者の価値が下がるのは言うまでもない。自分自身も気を付けることとする。

【付度】余計なお世話になっている場合が多いのではないかな。「小さな親切大きな迷惑」その気の利かせ方が、利かせる方の「利」に繋がり、逆に利かされる方には、全く「利」にはならないか、むしろ気が付かないようなマイナスに作用する場合もあり得る。そのマイナス部分が利かす方の「利」に繋がっているところがその本質。自己満足の行政か。

【不作為】「不作為 とは」で検索すると、法律的問題行為。あえて（特定の）積極的な行為をしないこと。がその核心となる。イジメ問題で死者が出てから、イジメはなかったと認識していたと当所見解を出して1回、よく調べアンケート等を実施し、結果イジメはあったと見解を出して2回。Wの不作為と判断される行為を行い、イジメた側は人権等により守られ、監視監督する側の責任は誰もとらない。不快どころか、世も末である。

【ブランディング】例えば、ある産地のある特定の水産物がブランディングにより、人気が高まり高値で取引されるとする。他の産地の同種の水産物の価値が下落してしまい売上損失となり得る。前者はますますその人気に拍車がかかり、一般の方々には高値？の花となり手が届かず、結局売り損なうこととなり得る。これが全体最適の真逆、全体不幸。

【善行】スパッと変換できなかった。「前項」が出てきた。死語か。自分自身の行いが正しいと自信を持って行う行為が、一部の他者には「悪行」と映ってしまう。人間は一人で生きてはいけないのであるから、認め合うことは必要であるが、お互い信じられない。